

2019年
北海道牧場見学と
帯広ばんえい競馬観戦の旅4日間



スケジュール

9月7日 (土曜日)

各地 空港 発

10:30~11:00

新千歳空港
到着ロビー

到着口2番 集合

帯広へ出発



昼食 車内にてお弁当

13:30

ムーミン牧場



14:00



14:45

十勝軽種馬農協種馬所

15:30



ホテルグランテラス帯広
チェックイン

16:30 帯広競馬場へ出発



17:00

帯広競馬場
ばんえい競馬 観戦

17:30 競馬場にて
夕食 BBQ



21:00 競馬場 出発



21:15 ホテル

【宿泊ホテル】

ホテルグランテラス帯広
帯広市西1条南1-1-2
TEL 0155-27-0109

9月8日 (日曜日)

7:30 ホテル チェックアウト
浦河へ出発



10:00

浦河優駿ビレッジAERU

10:25



10:30

イースト

11:30



12:00



昼食
みついし昆布温泉
蔵三

12:45



13:00

荒木克己育成牧場

13:45



14:30

白馬牧場

15:15



15:30

優駿スタリオンステーション

16:30



長濱ファーム



17:30 ホテルチェックイン

19:00 ホテルにて 夕食会



【宿泊ホテル】

新冠温泉レコードの湯
ホテルヒルズ
TEL 0146-47-2100

9月9日 (月曜日)

8:00 ホテル



8:30

アロースタッド

9:30



9:45

レックススタッド

10:45



11:00

クラックステーブル

11:45



12:00



昼食
宿泊ホテル

12:45



13:30

ヴェルサイユファーム

14:15



14:30

ダーレージャパン
スタリオンコンプレックス

15:15



15:30

ブリーダーズSS

16:30



17:15 ホテル

夕食は自由食となります

【宿泊ホテル】

新冠温泉レコードの湯
ホテルヒルズ
TEL 0146-47-2100

9月10日 (火曜日)

7:30 ホテル チェックアウト



8:30

ビッグレッドファーム

9:30



10:30

社台ブルーグラスファーム

11:00



12:00



昼食
ノーザンホースパーク

13:00



13:30

社台スタリオンステーション

14:30



15:15

社台ファーム

16:15



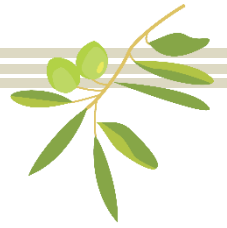
17:00 新千歳空港

解散

各 空港へ



牧場見学 6か条



これから皆さんが見学するスタリオン（種牡馬場）や生産牧場は観光牧場ではありません。ご厚意により見学させていただいています。

牧場さんにとって、馬は大切な商品であり、資産です。

また、サラブレッドはとても繊細な生き物です。私たちの不用意な行動が驚異となり、結果として馬や人を傷つけてしまう事態を招きかねないという事を十分に理解して牧場内では行動するようお願いいたします。

1. 馬には触らない！

大好きな馬が近くで見ることが出来れば、思わず、なでてしまいたくなります。

が、基本的に馬を触ることは許されていません。特に種牡馬は危険でもあります。普段、大人しそうにみえていても、急に噛みついてくる事もあります。馬は遊びのつもりで軽く噛んだつもりでも、大怪我に至る場合があります。むやみに近づいたり、触ったりはしない事。

なお、功労馬等は触る事が出来る牧場もあります。許可が出て触る事が許された時にも行動には十分注意して触れ合うようお願いします。

2. 馬に食べ物を与えない

牧場の馬たちは食べ物もきちんと管理されています。

勝手に食べ物を与えてはいけません。

放牧地に生えている草だからといって、ちぎって与えることもしてはいけません。

3. 牧場の見学指示に従い、許可されていない場所には立ち入らない

牧場では伝染病予防等いろいろな事で日々気を使っています。

特に厩舎への立ち入りは基本的に不可と認識して下さい。

見学を許可されたからといって、全ての場所の立ち入りが許されている訳ではありません。牧場内には従業員の住む家が併設されていたりもします、むやみに牧場内を歩き回ることにはしないで下さい。

4. 大きな音をたてない、走らない

サラブレッドはとても繊細で臆病な生き物です。

聞き慣れない音や、見慣れない者、急な動きに必要以上に驚く場合があります。

馬を刺激しないよう、牧場内では大声をあげたり、大きな音を鳴らしたり、走ることはしてはいけません。

5. 牧場内は禁煙です

6. カメラのフラッシュは厳禁

見学も後半になってくると、慣れや気の緩みで上記の件を忘れがちです。最終行程まで十分に注意し、楽しい旅となるようご協力お願いします。

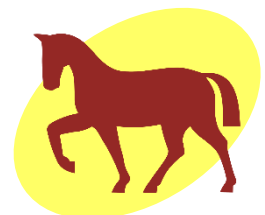
注※繁養馬のリストを記載しておりますが、全ての馬が見学できるとは限りません



馬の展示見学の場合のお願い

馬の展示の際には撮影所が限られていますので、見学者全員が良い位置で撮影など出来ない場合もあります。

最前列の方は、後列になってしまった人にもお気遣いいただき、しゃがむ又は交代するなど、譲り合いのご協力をお願いします。



スタリオンラインナップ

十勝軽種場農協種馬所

場所：中川郡幕別町猿別207-2

一般見学：年間可能（事前連絡必要）

連絡先及び詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認

※エアジハードは移動しております。



ダイナマイトダディ

1988年生まれ(31)

フサイチソニック

1997年生まれ(22)

ムーミン牧場

ミニチュアホースのふれあい牧場です。

※ミニチュアサイズヤギ（ピグミーヤギ）の飼育も
行っています。

北海道十勝郡清水町旭山南8線54番地
営業時間：9:00～日没 定休日：不定期
入園料：大人500円 こども200円

帯 広

帯広競馬場

ばんえい競馬

現在、世界で唯一のばんえい競馬を開催する帯広競馬場。
ばんえい競馬は通年を通して開催されており、体重1トンを超える
ばんば達の迫力のレースが楽しめます。

帯広市西13条南9丁目 入園料：大人100円



帯広競馬場には「馬の資料館」や「とかちむら」も併設。
「とかちむら」ではお土産品や産地食材を使ったレストランもあります。
競馬場内スタンドにも元祖カレーメンや砂糖がけアメリカンドッグ
等地元住民に愛されるグルメも堪能できますよ。



スタリオンラインナップ

イーストスタッド

場 所：浦河郡浦河町西幌別316

一般見学：8月1日～11月末日まで見学可能 10時までに集合

詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



アンライバルド

2006年生まれ(13)



ホッコータルマエ

2009年生まれ(10)



エーシントップ

2010年生まれ(9)



オウケンブルースリ

2005年生まれ(14)



クレスコランド

2008年生まれ(11)



シゲルカガ

2011年生まれ(8)



ダノンレジェンド

2010年生まれ(9)



ダンカーク

2006年生まれ(13)



ディープスカイ

2005年生まれ(14)



トゥザグローリー

2007年生まれ(12)



ヒストリカル

2009年生まれ(10)



マジェスティックウォリアー

2005年生まれ(14)



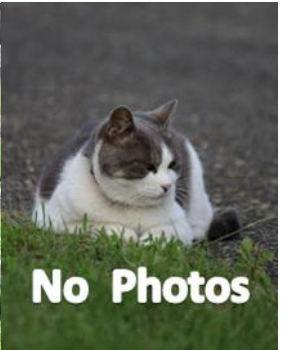
メイショウサムソン

2003年生まれ(16)



メイショウボーラー

2001年生まれ(18)



No Photos

ヘンリーバローズ

2015年生まれ(4)



ルースインド

2001年生まれ(18)



No Photos

ルックスアットザキル

2012年生まれ(7)



インカンテーション

2010年生まれ(9)



※タイキフォーチュンは見学できません

うらかわ優駿ビレッジ A E R U

場 所：浦河郡浦河町西舎141-40
 観光牧場：年間見学可能 9:00~17:00
 詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



ウイングチケット
 1990年生まれ(29)



スズカフェニックス
 2002年生まれ(17)



タイムパドックス
 1998年生まれ(21)



AERUは、宿泊施設もあります。

荒木克己育成牧場

場 所：日高郡新ひだか町静内春立
 一般見学：年間見学可能 8:00~17:00
 詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



オリオンザサンクス
 1996年生まれ(23)



トーシンプリザード
 1998年生まれ(21)



ブライアンズロマン
 1991年生まれ(28)



ロードクロノス
 1995年生まれ(24)



エスケープハッチ
 2000年生まれ(19)

※こちらの牧場は生産・育成も行っております。上記の馬以外には触ったり、人參をあげたりすることは絶対にしないでください。

元競走馬の命を支える

お金を生み出さなくなった元競走馬が生きてゆく道はとても険しいものです。
 馬に福祉のシステムはありません。大きなレースを勝ち、多くの人に夢や富をもたらした馬でさえ、仕事を終えた後の生活を保障するものはなにもなく、いつの間にか行方不明になってしまう事もあるのです。
 そんな中で、ここ数年は馬の余生を考える、そんな流れが大きくなってきました。
 このツアーでも功労馬たちを多く見学します。
 牧場さんが貢献してくれた馬を支えている場合もあれば、会員や里親を募って支える場合もあります。
 あなたも好きだった馬の里親になったり、グッズの購入、馬券で少しも受けた時に寄付をしてみたりと馬たちの命を支えてみませんか？

引退馬協会

荒木牧場功労馬サポーターズ

ブライアンズロマンの会

ツルマルツヨシの会

ビッグゴールド・サポーターズ・クラブ

吉備ひだまり牧場おひさま会

渡辺牧場里親会

オーシャン愛馬の会

ツルオカオウジの会

サーチエネミーの会

サカモトホースファミリー

被災馬コテツの会

春風ヒューマの会

マイネルデインブル・サポータークラブ

ハニーズサークル

グランデラバーの会

ヴェルサイユリゾートクラブ

サンクスホースプロジェクト

土佐黒潮牧場

ホーストラスト北海道

ホーストラスト

TCC Japan

スタリオンラインナップ

優駿スタリオンステーション

場 所：新冠郡新冠町朝日
一般見学：8月1日～10月末日まで見学可能 15時に集合
詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



アジアエクスプレス
2011年生まれ(8)



エスポワールシチー
2005年生まれ(14)



カレンブラックヒル
2009年生まれ(10)



ゴールドアクター
2011年生まれ(8)



サウンドスカイ
2013年生まれ(6)



シルバーステート
2013年生まれ(6)



トゥザワールド
2011年生まれ(8)



ノーザンリバー
2008年生まれ(11)



ヘニーヒューズ
2003年生まれ(16)



ベストウォーリア
2010年生まれ(9)



ニシケンモノノフ
2011年生まれ(8)



レインボーライン
2013年生まれ(6)



ロジユニヴァース
2006年生まれ(13)



サウンドボルケーノ
2008年生まれ(11)



ヘニーハウンド
2008年生まれ(11)



ミッキーロケット
2013年生まれ(6)



ベーカバド
2007年生まれ(12)



タイセイレジェンド
2007年生まれ(12)



トビーズコーナー
2008年生まれ(11)



フサイチセブン
2006年生まれ(13)



フサイチエンド
1997年生まれ(22)



バンデ
2010年生まれ(9)

優駿メモリアルパーク

優駿記念館

場 所：新冠郡新冠町朝日276-3
観光施設：年間訪問可能・優駿記念館は3月30日～11月4日まで開館
10:00～16:00

詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認

オグリキャップの像や優駿スタリオンステーションにいた種牡馬の馬碑、
そのほか新冠にゆかりのある活躍馬たちの馬碑も多数。
記念館と共に参りスポットとなっています。



マヤノトップガン
1992年生まれ(27)

馬産地通信



キャタリナ
1994年生まれ(25)
父 Stome Cat
母 Carolina Saga



エイシンサンサン
1992年生まれ(27)
父 キャロルハウス
母 エイシンギャロップ



エイシンデピュティ
2002年生まれ(17)
父 フレンチデピュティ
母 エイシンマツカレン

小倉3歳S(G3)の勝ち馬エイシンサンサンとエイシンヒカリのママ
キャタリナ が功労馬としてひっそり、のんびり暮らす栄進牧場さん
にお邪魔させていただきました。
2年ぶりの再会となりましたが、元気な顔を見ることが出来ました。
同じステーブルメイトには、今年32歳になったエイシンサニーさんや
クイーンエリザベスII世Cを連勝したエイシンプレストンの顔も。
栄進牧場さんの功労馬たちは、大事にされて余生を送っておりますので、ご安心を。

少し離れた栄進牧場の本場の新しい厩舎では種牡馬を引退した
エイシンデピュティ(宝塚記念)も元気にしてましたよ。

スタリオンラインナップ

白馬牧場

場 所：新冠郡新冠町西泊津18-1

一般見学：年間見学可能 13:00~15:00 事前連絡必要

詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



アスカクリチャン
2007年生まれ(12)



ツクバシフォンニ
1993年生まれ(26)



リッカロイヤル
2005年生まれ(14)



アポロソニック
2010年生まれ(9)



バンドワゴン
2011年生まれ(8)



No Photos



ユーノテソーロ
2014年生まれ(5)

ギンザグリングラス
2005年生まれ(14)



テイエムオペラオーやゴスホークケンのお墓にお参りも出来ます。

馬産地通信

ミナノアイドル

父 オグリキャップ 母グレイスクイン
2007年生まれ(12)



オグリキャップの最後の娘 ミナノアイドル。
ストリートキャップのママとしてのほうが馴染みがあるかもしれませんね。
ミナノアイドルのデビューは東京競馬場のダービーの日でした。
最初で最後の競馬場での姿。それから何年経ったでしょうか・・・
オグリキャップの血と夢をのせた彼女。
長男ストリートキャップは中央競馬で3勝、なかなかの活躍をしてくれました。
しかしながら、彼女の繁殖生活は順調とは言えず、その後は不受胎続き・・・
やっと恵まれた次男のミナノヒーローはこれからデビューを迎えます。
そして、昨年産まれた三番仔は待望の女の子(モーリス)。
今年は残念ながら死産となってしまいましたが、とにかく元気で夢を紡いで欲しいと願うのです。



3番仔父モーリスの女の子(手前)

スタリオンラインナップ

レックススタッド

場 所：日高郡新ひだか町静内目名491-2

一般見学：8月1日～12月15日まで見学可能 10:00～12:00

二十間道路牧場案内所にて申込必要

詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



スノードラゴン
2008年生まれ(11)



オーシャンブルー
2008年生まれ(11)



コパノリチャード
2010年生まれ(9)



ショウナンカンブ
1998年生まれ(21)



エイシヒカリ
2011年生まれ(8)



スマートファルコン
2005年生まれ(14)



タニギムレット
1999年生まれ(20)



シルポート
2005年生まれ(14)



アポロキングダム
2003年生まれ(16)



パドトロワ
2007年生まれ(11)



トーセンター
2008年生まれ(11)



ニホンピロアワーズ
2007年生まれ(12)



ネオユニヴァース
2000年生まれ(19)



エイシンフラッシュ
2007年生まれ(12)



マツリダゴッポ
2003年生まれ(16)

レーヴミストラル
2012年生まれ(7)

ヴァンセンヌ
2009年生まれ(10)

スクリーンヒーロー
2004年生まれ(15)

ビーチパトロール
2013年生まれ(6)



ハクサムーン
2009年生まれ(10)

コルヴァッチ
2014年生まれ(5)

フェノーメノ
2009年生まれ(10)

アグニシャイン
2014年生まれ(5)

レガーロ
2013年生まれ(6)

あのG1馬の父たちに会いたい

2018年G1馬の父たち

レース名	勝ち馬	勝ち馬の父
フェブラリース	ノンコノユメ	トウニング
高松宮記念	ファインニードル	アドマイヤムーン(ダレ-JSCo)
大阪杯	スワーヴリチャード	ハーツクライ(社台SS)
桜花賞	アーモンドアイ	ロードカナロア(社台SS)
中山グランددジャンプ	オジュウチョウサン	SS
皐月賞	エポカドロー	オルフェヴル(社台SS)
天皇賞(春)	レインボウライン	ステイゴールド
NHKマイル	ケイアイノーテック	ティープインバウト
ヴィクトリアマイル	ジュールポレール	ティープインバウト
オークス	アーモンドアイ	ロードカナロア(社台SS)
日本ダービー	ワグネリアン	ティープインバウト
安田記念	モズアスコット	Frankel(GB)
宝塚記念	ミッキローケット	キングカメハメハ
スプリンターS	ファインニードル	アドマイヤムーン(ダレ-JSCo)
秋華賞	アーモンドアイ	ロードカナロア(社台SS)
菊花賞	フィエールマン	ティープインバウト
天皇賞(秋)	レイデオロ	キングカメハメハ
エリザベス女王杯	リスグラシュー	ハーツクライ(社台SS)
マイルチャンピオンシップ	ステルヴィオ	ロードカナロア(社台SS)
ジャパンカップ	アーモンドアイ	ロードカナロア(社台SS)
チャンピオンカップ	ルヴァンスレーヴ	シンボリクリスエス(フリーダースSS)
阪神ジュベナイルF	ダノンファンタジー	ティープインバウト
朝日杯フューチャリティS	アドマイヤムーン	タイフメジャー(社台SS)
中山大障害	ニホンピロバロン	フサイチリシャール
有馬記念	プラストワンピース	ハービンジャー(社台SS)
ホープフルS	サートゥルナーリア	ロードカナロア(社台SS)

2018年Jpn1馬の父たち

レース名	勝ち馬	勝ち馬の父
川崎記念	ケイティブレイブ	アドマイヤマックス(ビッグレッドファーム)
かしわ記念	ゴールドドリーム	ゴールドアリュール
帝王賞	ゴールドドリーム	ゴールドアリュール
ジャパンダートダービー	ルヴァンスレーヴ	シンボリクリスエス(フリーダースSS)
マイルCS南部杯	ルヴァンスレーヴ	シンボリクリスエス(フリーダースSS)
JBCレディスクラシック	アンジュテジュール	ティープインバウト
JBCスプリント	グレイスフルレーヴ	ゴールドアリュール
JBCクラシック	ケイティブレイブ	アドマイヤマックス(ビッグレッドファーム)
全日本優駿	ノーヴァレンダ	タイフメジャー(社台SS)
東京大賞典	オメガパフューム	スウェプトオーヴァーボード

2019年G1馬の父たち

レース名	勝ち馬	勝ち馬の父
フェブラリース	インテイク	ケムホーム(JBBA九州)
高松宮記念	ミスターメロディ	Scat Daddy(USA)
大阪杯	アルアイ	ティープインバウト
桜花賞	グランアレグリア	ティープインバウト
中山グランددジャンプ	オジュウチョウサン	ステイゴールド
皐月賞	サートゥルナーリア	ロードカナロア(社台SS)
天皇賞(春)	フィエールマン	ティープインバウト
NHKマイル	アドマイヤムーン	タイフメジャー(社台SS)
ヴィクトリアマイル	ノームコア	ハービンジャー(社台SS)
オークス	ラプソディ	ティープインバウト
日本ダービー	ロジャーパロース	ティープインバウト
安田記念	インティチャンプ	ステイゴールド
宝塚記念	リスグラシュー	ハーツクライ(社台SS)
スプリンターS		
秋華賞		
菊花賞		
天皇賞(秋)		
エリザベス女王杯		
マイルチャンピオンシップ		
ジャパンカップ		
チャンピオンカップ		
阪神ジュベナイルF		
朝日杯フューチャリティS		
中山大障害		
有馬記念		
ホープフルS		

2019年Jpn1馬の父たち

レース名	勝ち馬	勝ち馬の父
川崎記念	ミツバ	カネヒキリ
かしわ記念	ゴールドドリーム	ゴールドアリュール
帝王賞	オメガパフューム	スウェプトオーヴァーボード
ジャパンダートダービー	クリソベルリ	ゴールドアリュール
マイルCS南部杯		
JBCレディスクラシック		
JBCスプリント		
JBCクラシック		
全日本優駿		
東京大賞典		

2019年海外G1

レース名	勝ち馬	勝ち馬の父
クインエリザベスII世カップ(香港)	ウインブライト	ステイゴールド
ナッソーS(イギリス)	ディアドラ	ハービンジャー(社台SS)
ドバイターフ(ドバイ)	アーモンドアイ	ロードカナロア(社台SS)

思い出の馬たち

2019年暑い夏の最中、衝撃的なニュースが届いた。あのディーピンバクトの訃報。そして、続くようにキングカメハメハがこの世を去った。競走成績も、種牡馬としての成績も文句のつけようのない2頭、人のためではなく、自分のためだけに過ごす時間を与えてあげることが出来なかったのが、とても残念で悲しいですね。

そのほかにも、昨年末から相次いで名馬の訃報が続きました。64年ぶりに牝馬で日本ダービー馬となったウオッカ、ツアーでも幾度か見学をしたキングヘイローやイクノディクタスなど、お別れはとても寂しいものです。

私たちに多くの夢や感動、幸せを与えてくれた馬たちに感謝の意を込めて・・・



海外で繁殖生活を送っていた**ウオッカ**。日本に戻る事なく、旅立ってしまいました。まだ、15歳、早すぎますよ。本当はもう一度会いたかった。美しく強かった貴方の事を忘れることなど出来ません。



ここ数年、**キングカメハメハ**は体調が優れない時があり、心配をしていました。種牡馬生活を引退し、あとは功労馬としてのんびり暮らすはずだったのに。素晴らしい子供たちをのこしてくれました。

サンライズベガサス (21) 8/22
キングカメハメハ (18) 8/9
シャルロット (40) 8/3
ディーピンバクト (17) 7/30
ゴツスピード (25) 7/22
トウショウオリオン (26) 7/9
ピコーベガサス (28) 6/11
シルクジャスティス (25) 6/3
マザートウショウ (29) 5/18
ヒシアマゾン (28) 4/15
ゴーカイ (25) 4/26
ナムラサンクス (20) 4/24
キングズベスト (22) 4/16
ウオッカ (15) 4/1
キングヘイロー (24) 3/19
サクラキャンドル (27) 3/4
イクノディクタス (31) 2/6
マコトスバルビエロ (14) 2/5
ロイヤルタッチ (25) 2/2
エイシンサンディ (25) 2/2
サクラスピードオー (25) 2/1
アルファキュート (29) 2/1

2018
カンパニー (27) 12/29
エリモハリアー (18) 12/15
ヤマニンパラダイス (26) 12/7

海外
パイオニアオブザナイル (13) 3/18
ドゥーナデン (13) 5/2
リダウツチョイス (22) 3/25
シーオブグラス (4) 7/22



かわいい暴君、**ロイヤルタッチ**は兄(ウイングチケット)より先に逝ってしまいました。



マコトスバルビエロ



キングヘイロー



鉄の女と呼ばれたイクノディクタス。31歳でした。



文句のない競走生活、種牡馬生活、ディーブインパクトの名は日本の競馬史に刻まれます。その別れはあまりにも突然にやってきました。貴方の叶えられなかった凱旋門賞の夢はその子供たちに託して…



未出走で種牡馬になった
エイシンサンディ



九州に新天地を求めた
カンパニー道半ばにて…

現役馬の悲しいニュースもありました。
シャケトラ
タンタアレグリア
アドマイヤエイカン等の
重賞ウイナーから
個性的な容姿でファンの多かった
メイクアップとの別れもありました。



サンライズベガサス

現役馬
シャケトラ (6) 4/17
アドマイヤエイカン (6) 5/26
タンタアレグリア (7) 7/3
メイクアップ (8) 6/15
シャルドネゴールド (4) 3/20
マックスドリーム (11) 5/4
ドリームハヤテ (9) 5/4
アイアンテイラー (5) 5/2

エイシンフラッシュの父、キングズベスト。
ダーレーさんと会うのが毎回楽しみだった
ハンサムガイでした。



シャケトラ

スタリオンラインナップ

アロースタッド

場 所：日高郡新ひだか町静内田原499
一般見学：7月16日～12月下旬 見学可能 15:00～16:00
二十間道路牧場案内所にて見学申し込み
詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



ガルボ
2007年生まれ(12)



グランプリボス
2008年生まれ(11)



シニスターミニスター
2003年生まれ(16)



シャンハイボビー
2010年生まれ(9)



トーホウジャッカル
2011年生まれ(8)



ディーマジェスティ
2013年生まれ(6)



トウケイハイロー
2009年生まれ(10)



トランセンド
2006年生まれ(13)



ヤマカツエース
2012年生まれ(7)



ビッグアーサー
2011年生まれ(8)



ペルーサ
2007年生まれ(12)



ドリームバレンチノ
2007年生まれ(12)



マスクゾロ
2011年生まれ(8)



ミュゼスルタン
2012年生まれ(7)



2012年の当牧場見学、岡田牧場さんにて見学をさせていただいたヤマカツマリリン。そこに母と一緒にいたのが後のヤマカツエースでした。そのヤマカツエースは種牡馬として、北海道に帰ってきました。仔馬が無事に育ち、競走馬とデビューすることさえ、大変な事です。

その馬が活躍しそして種牡馬として北海道のスタッドで再会できるなんて、めったにない貴重な経験です。また、ヤマカツエースのような出会いがあると嬉しいですね。

ヤマカツエース
当歳時



ヒルノダムール
2007年生まれ(12)



ダンスディレクター
2010年生まれ(9)



ラニ
2013年生まれ(6)



ワンアンドオンリー
2011年生まれ(8)



レッドスパード
2006年生まれ(13)



ナカヤマフェスタ
2006年生まれ(13)



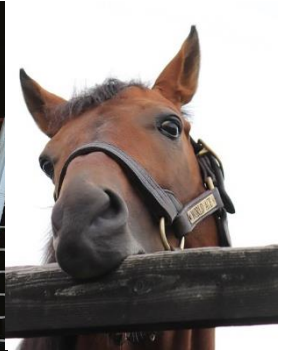
ネロ
2011年生まれ(8)



バトルプラン
2005年生まれ(14)



ハギノハイブリッド
2011年生まれ(8)



ワールドエース
2009年生まれ(10)

放牧地図

(7月のものなので、9月現在とはかわっているかもしれません)

	ドリームバレンチノ		
	ナカヤマフェスタ		
トウケイハイロー	ハギノハイブリッド	ネロ	
ワンダーアキュート	ガルボ	マスクゾロ	
ワールドエース	バトルライン	ミゼスルタン	
ディーマジェスティ	ビッグアーサー	シャンハイポビー	ワンアンドオンリー
シニスターミニスター	ヤマカツエース	グランプリボス	トーホウジャッカル
事務所	A厩舎	B厩舎	ラニ
トランセンド	レッドスパード	ペルサ	
	ダンスディレクター		
		種付場	
C厩舎			
		ウォーターリーグ	ヒルノダムール



ワンダーアキュート
2006年生まれ(13)



ウォーターリーグ
1998年生まれ(21)



ロジャーバローズ
2016年生まれ(3)

急遽、種牡馬入りとなった2019年ダービー馬。ケガによる速い引退ははとも残念ですが、日高の星となる種牡馬となってくれたら嬉しいです。

Roger Barows

スタリオンラインナップ

クラックステーブル

場 所：新冠町万世 2 3

一般見学：事前連絡必要 9:00~11:00

詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



エキストラエンド
2009年生まれ(10)



カキツバタロイヤル
2006年生まれ(13)



サンカルロ
2006年生まれ(13)



ストーミングホーム
1998年生まれ(21)



ソルテ
2010年生まれ(9)



モンドキャンノ
2014年生まれ(5)



ロールボヌール
2012年生まれ(7)



グレイレジェンド
2008年生まれ(11)



リッチーリッチー
2013年生まれ(6)



リヤンドファミユ
2010年生まれ(9)

馬産地通信

ティコティコタック

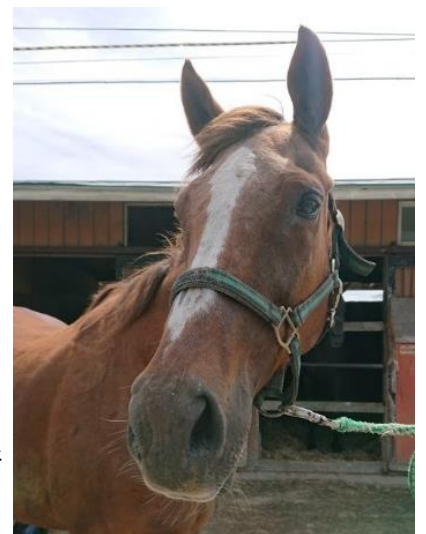
父 サッカーボーイ 母 ワンアイドバンブー
1997年生まれ (22)

2000年の秋華賞馬ティコティコタックさん。
産まれ故郷での繁殖生活を引退し、功労馬として
悠々自適生活を過ごしています。
まだ、若々しい馬体です。



チョウカイキャロル

父 ブライアンズタイム
母 ウィットワタースランド
1991年生まれ (28)



1994年のオークス馬も今年28歳になりました。
競走生活を引退後は生まれ故郷に戻り、母としての仕事も全うし、数年前に繁殖生活も引退、現在は功労馬として大事にされています。
実は、昨年は体調不良にて危険な時もあったそうですが、持ち直し、元気度はこの日作業をしていた削蹄師さんにも元気はお墨付きをいただきました。

スタリオンラインナップ

ブリーダーズ・スタリオン・ステーション

場 所：沙流郡日高町富川東2-972-3

一般見学：8月1日から9月末まで見学可能 9:00～10:30

詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



グランデツァ
2009年生まれ(10)



グレートロンドン
2012年生まれ(7)



コパノリッキー
2010年生まれ(9)



サイレントディール
2000年生まれ(19)



シビルウォー
2005年生まれ(14)



シンボリクリスエス
1999年生まれ(20)



ジャングルポケット
1998年生まれ(21)



ストロングリターン
2006年生まれ(13)



スピルバーク
2009年生まれ(10)



ゼンノプロイ
2000年生まれ(19)



ダノンシャーク
2008年生まれ(11)



ディープリランテ
2009年生まれ(10)



トーセンジョーダン
2006年生まれ(13)



ブラックタイド
2001年生まれ(18)



ベルシャザール
2008年生まれ(11)



ラプリーディ
2010年生まれ(9)



リオンディーズ
2013年生まれ(6)



ヴィクトワールピサ
2007年生まれ(12)



セイントアレクス
2007年生まれ(12)

スタリオンラインナップ

ダーレー・ジャパン スタリオンコンプレックス

場 所：沙流郡日高町富浜

一般見学：

詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



アドマイヤムーン
2003年生まれ(16)



アメリカンペイトリオット
2013年生まれ(6)



タリスマニック
2013年生まれ(6)



デイスクリートキャット
2003年生まれ(16)



パイロ
2005年生まれ(14)



ファインニードル
2013年生まれ(6)



フリオ
2004年生まれ(15)



モンテロツソ
2007年生まれ(12)

ヴェルサイユファーム

場 所：日高町緑町

一般見学：4月～12月10日 間見学可能 事前連絡必要

詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



アドマイヤジャパン
2002年生まれ(17)



タイキシャトル
1994年生まれ(25)



ブロードアピール
1994年生まれ(25)



メイショウドウ
1996年生まれ(23)



ローズキングダム
2007年生まれ(12)

長濱ファーム



静内のサラブレッド銀座にある一般的な家族で営む小規模の牧場。

繁殖牝馬とその子供。
牧場の日常を体験してください。



スタリオンラインナップ

ビッグレッドファーム

場 所：新冠郡新冠町明和

一般見学：年間見学可能 10:00~16:00

詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認



アグネスデジタル
1997年生まれ(22)



アドマイヤマックス
1999年生まれ(20)



グラスワンダー
1995年生まれ(24)



ゴールドシップ
2009年生まれ(10)



ジョーカブチーノ
2006年生まれ(13)



ダノンシャンティ
2007年生まれ(12)



ダノンバラード
2008年生まれ(11)

ビッグレッドファームさんでは施設見学、繁殖牝馬とその子供、迫力の調教の様子等を見学させていただく予定です。



ロサード
1996年生まれ(23)



ローズインメイ
2000年生まれ(19)



コスモバルク
2001年生まれ(18)



馬産地通信

ニシノラピート

父 サウスヴィグラス
母 ミスダイナクルス
2013年生まれ(6)

南関東、東京シンデレラマイルを勝ったニシノラピート。母になるために生まれ故郷の牧場に帰ってきました。



スタリオンラインナップ

社台スタリオンステーション

場 所：勇払郡安平町早来源武275
一般見学：社台スタリオン公式サイトにて要確認



サトノダイヤモンド
2013年生まれ(6)



エピファネイア
2010年生まれ(9)



キズナ
2010年生まれ(9)



ハーツクライ
2001年生まれ(18)



クロフネ
1998年生まれ(21)



サトノアラジン
2011年生まれ(8)



イスラボニータ
2011年生まれ(8)



オルフェーヴル
2008年生まれ(11)



ジャスタウェイ
2009年生まれ(10)



ダイワメジャー
2001年生まれ(18)



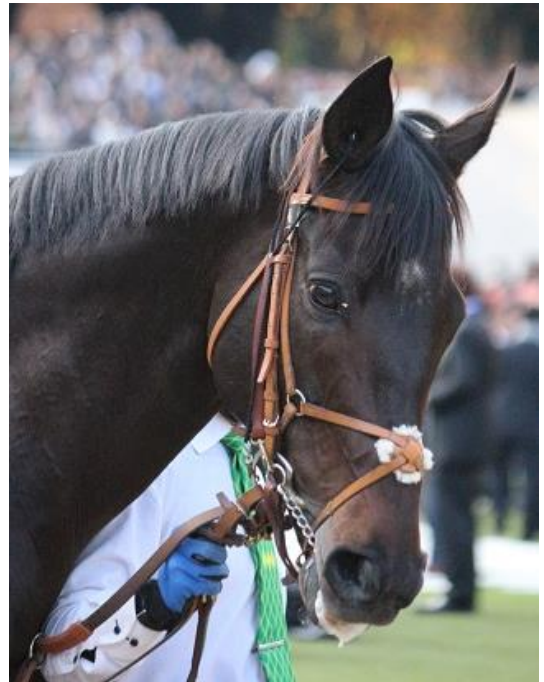
ミッキーアイル
2011年生まれ(8)



ドレフォン
2013年生まれ(6)



ノヴェリスト
2009年生まれ(10)



サトノクラウン
2012年生まれ(7)



モーリス
2011年生まれ(8)



リアルインパクト
2008年生まれ(11)



リアルスティール
2012年生まれ(7)



レッドフォックス
2011年生まれ(8)



キタサンブラック
2012年生まれ(7)



ロゴタイプ
2010年生まれ(9)



ロードカナロア
2008年生まれ(11)



ドウラメンテ
2012年生まれ(7)



ハービンジャー
2006年生まれ(13)



No Photos

マインドユアビスケツ
2013年生まれ(7)



ルーラーシップ
2007年生まれ(12)



キンシャサノキセキ
2003年生まれ(16)



ドリームジャーニー
2004年生まれ(15)



リーチザクラウン
2006年生まれ(13)

馬産地通信



キンショーユキヒメ

父 メイショウサムソン
母 アップルティ
2013年生まれ(6)

昨年の福島牝馬Sを勝った
キンショーユキヒメさんは競走生活
を終えて、母になるために北海道
に帰ってきました。
来年の春にはお母さんになる予定
です。



※ ドリームジャーニーについて
基本的に種牡馬引退しましたが、今年は希望
者に何頭か種付けを行ったそうです。現在は功
労馬厩舎に移動しておりますので、見学は出
来ません。



アドマイヤジュピタ
2003年生まれ(16)



アロンドイト
2003年生まれ(16)



ウインドインハーヘア
1991年生まれ(28)



カミノサハラ
2010年生まれ(9)



カレンミロティック
2008年生まれ(11)



シルクフォーチュン
2006年生まれ(13)



ジャガーメール
2004年生まれ(15)



デルタブルース
2001年生まれ(18)



フォゲッタブル
2006年生まれ(13)



ブライトエンブレム
2012年生まれ(7)



ラストインパクト
2010年生まれ(9)



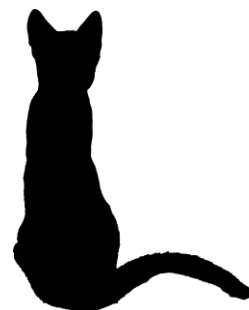
ヴァーミアン
2002年生まれ(17)



ロイカバード
2013年生まれ(6)



トライアンフマーチ
2006年生まれ(13)



馬産地通信

スエヒロジョウオー

父 トウショウベガサ
母 イセスズカ
1990年生まれ (29)



29歳になったスエヒロジョウオーさんは、今年も親子の馬たちが過ごす放牧地で静かに草を食みながら過ごしていました。

さすがに29歳ですから、顔にも白いところが増えました。身体にも悪いところもいろいろと出てきているようですが、牧場さんに大事にされて幸せな日々を送っています。

社台ブルーグラスファーム

場 所：北海道沙流郡日高町字旭町23
一般見学：不可
社台ファームの日高分場。功労馬に会える予定です。



アグネスフライト

1997年生まれ(22)

ローエン格林

1999年生まれ(20)

スティンガー

1996年生まれ(23)

ムーンレディ

1997年生まれ(22)

エアトゥーレ

1997年生まれ(22)

社台ファーム

場 所：北海道千歳市東丘1288-140
一般見学：不可
ダイワスカーレット、カレンチャン、マルセリーナ等多くの活躍馬がいる繁殖、育成を行う牧場



今年は誰に会えるかな？

昨年はジュエラー、ダイワスカーレット、サンテミリオンさんが並ぶ豪華なひと時を楽しませていただきました。



マルセリーナとラストドラフト

2016年に社台ファームさんで見学させていただいた桜花賞馬マルセリーナ親子。この時、側にいた当歳馬は今年、京成杯（G3）を勝った、ラストドラフト君でした。



馬産地通信

サワカラスカル

父 ラスカスズカ 母 サワカスズカ
2005年生まれ（14）

サワカラスカルさんは生まれ故郷に戻り、母となって5頭目の子育て中。今年のお子さんは父アドマイヤムーンの男の子です。お母さんに甘えたり、お友達と遊んだり、いまが一番幸せな時です。



